



開催決定！

第四回 日韓合同シンポジウム

2025年11月27日(木) 文京区民センター 3-A会議室

韓国では小学校から高校まで学校教科書で「日本軍慰安婦」を取り上げ、史実を捻じ曲げて、子供たちに日本への「恨み」を植え付けています。さらに海外各地に「慰安婦像」を設置して日本の「残虐性」を訴えており、これを韓国政府も支援しています。放置すれば日本は世界から侮蔑され、韓国は日本との離反によって自滅します。

今年で第四回を迎える日韓合同シンポジウム。慰安婦像撤去活動と韓国学校教科書問題に取り組んできた金柄憲先生と日韓両国の歴史・文化に造詣が深い評論家の呉善花先生をお招きし、日韓の真の和解のためには何が必要かを議論して頂きます。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

【日時】 11月27日（木）受付13時30分～ 開会14時 閉会16時予定

【場所】 文京区民センター 3-A会議室 （東京都文京区本郷4丁目15番14号）

都営三田線・大江戸線「春日駅A2出口」徒歩0分 / 東京メトロ丸ノ内線「後楽園駅4b出口」徒歩5分 / 東京メトロ南北線「後楽園駅6番出口」徒歩5分

【プログラム】

- ◆ 講演 金 柄憲（韓国国史教科書研究所所長）
「韓国慰安婦運動の現状と学校教育、そして今後の解決策」
- ◆ 講演 呉 善花（評論家・東京国際大学教授）
「李在明政権が揺さぶる日韓関係 ～日本統治時代をめぐる真実～」
- ◆ 対談 金 柄憲・呉 善花 「日韓の真の和解を目指して」

【参加費】 2千円 事前申し込み不要 直接会場にお越しください

講 師



金 柄憲（キム・ビョンホン）

成均館大学校漢文学科博士修了。東国大学史学科博士修了。韓国の歴史学者、大学講師。韓国国史教科書研究所所長、慰安婦法廃止国民行動代表を務めている。2019年からソウル駐在大韓民国日本国大使館前の少女像撤去を要求する集会を開いている。近著『赤い水曜日、30年間の慰安婦歪曲』の日本語版を文藝春秋より出版



呉 善花（オ・ソンファ）

1956年、韓国済州島生まれ。4年間志願で女子軍隊生活。1983年来日、大東文化大学（英語学）留学生。その後、東京外国語大学大学院修士課程（アメリカ地域研究）修了。拓殖大学教授退職後、2022年度から東京国際大学教授。著書『スカートの風』正・続・新（三交社・角川文庫）、『日本の曖昧力』（PHP研究所）。近著に『謙虚で美しい日本語のヒミツ』（ビジネス社）2022年など著書多数。

シンポジウム成功に向けてご支援のお願い～国際歴史論戦研究所の活動は皆様からのご寄付で成り立っています

郵便振替口座：00180-9-421130

口座名 国際歴史論戦研究所

ゆうちょ銀行：店名 〇一九店（ゼロイチキューテン）＊支店名は「セ」を指定して調べてください。

当座 口座番号 0421130

口座名 国際歴史論戦研究所

三菱UFJ銀行：春日町支店 普通預金 口座番号 1176278

シャ）コサイルキヨンセンケンキョウジョ

クレジットカード寄付 ⇒



主催 一社）国際歴史論戦研究所

Tel：03-6912-1045（担当 松岡）

Mail：info@i-rich.org